

科目ナンバリング		U-LAS03 10002 SB48							
授業科目名 <英訳>		外国文献研究(文・英) A-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)A-E1			担当者所属 職名・氏名		文学研究科 准教授 安平 弦司		
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	水4		配当学年	2回生以上	対象学生	文系向
【授業の概要・目的】									
この授業では、以下の書籍の一部を精読する。 Nicholas Terpstra, Senses of Space in the Early Modern World (Cambridge: Cambridge University Press, 2024) 86 pp., Online ISBN: 9781009435437. 近世(本書では1400-1750年)はグローバル化が進展し、世界史が大きく動いた激動の時代であった。本書は、そうした近世世界において人々がどのように感覚を通じて空間を認識し経験したのか、という問いを探究している。著者である世界的な近世史研究者ニコラス・テルプストラは、フィレンツェ、アムステルダム、ボストン、マニラを具体例として取り上げてその都市空間編成を論じながら、人々がそれらの都市空間において聴覚・嗅覚・味覚・触覚を通じて何をどのように経験したかを明らかにしている。本書を通じて、空間の歴史と感覚の歴史という密接に関係する2つの方法論・アプローチについて学ぶこともできよう。 本授業の主たる目的は、同書の精読を通じて英語の研究文献の読解能力を向上させ、近世史・空間の歴史・感覚の歴史の対象や方法について理解を深めることである。 本授業では毎週予習を必須とする。なお、後期にも同書の後半部分を扱う外国文献研究の授業を開講している。									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> 英語の研究文献の読解力を向上させる。 近世史・空間の歴史・感覚の歴史における研究関心や研究手法を理解する。 									
【授業計画と内容】									
<p>第1回：オリエンテーション 使用するテキストの概要や、授業の進め方、予習や発表の仕方、評価方法等について説明する。</p> <p>第2～13回：テキストの精読 受講生全員が予習をしていることを前提に、テキストの精読を冒頭から順に進める。その場で指名された受講生は数行を目安に訳読をすること。前期の間に第1章から第3章まで読み通すことを目指す。</p> <p>テキストの目次</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. Thinking with Space and Sense (pp. 1-7) 2. The Sight of Space (pp. 7-23) 3. The Force of Sound (pp. 23-37) 4. The Sites of Smell (pp. 37-50) 5. The Taste of Time (pp. 50-63) 6. The Times of Touch (pp. 63-75) 7. Conclusion (pp. 75-76) 									
----- 外国文献研究(文・英) A-E1(2)へ続く -----									

外国文献研究（文・英）A-E1(2)

第14回：授業中試験、および前期に扱った箇所のまとめ

第15回：フィードバック

【履修要件】

本授業は、人文学の英語文献の基礎的な読解力を有する学生の履修を前提とするため、2回生以上を対象とする。なお、後期にも同じテキストの後半部分を扱う外国文献研究の授業を開講しているため、通年での履修を推奨する。

【成績評価の方法・観点】

平常点（60%：授業中の訳読、授業中の発言内容等）と試験（40%）によって評価する。

【教科書】

Nicholas Terpstra 『Senses of Space in the Early Modern World』（Cambridge University Press, 2024）

ISBN:9781009435437

コピーを配布するため、テキストを購入する必要はない。

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

事前に指定された範囲の予習を必ず済ませた上で出席すること。予習に際しては、辞書を引くことはもちろん、関連する内容について適宜調べることが望ましい。

【その他（オフィスアワー等）】

・履修定員を45名とし、履修人数制限を行うため、履修を希望する者は履修人数制限科目申込期間にKULASISから申し込むこと。

なお、以下の条件順で抽選を実施し、履修を許可する。

1. 文学部の4回生（所属系は問わない。）
2. 文学部歴史基礎文化学系および基礎現代文化学系の2・3回生
3. 上記系以外の文学部2・3回生
4. 文学部以外の学生